

20 年度 学習指導計画

科目名 古典 (3年生) (4単位)

	校長	教頭	授業担当者
年度始 (5月)			
年度末 (3月)			

1、教科書・副教材

高等学校 新編古典(明治書院)[古典016]  
カラー版新国語便覧(第一学習社)

2、科目の目標

古文・漢文の読解のための基礎的な能力を身につける。  
ことわざ、故事成語、四字熟語などの成り立ちを理解し、日常生活で使いこなせるようにする。  
古典作品に親しむことによって、日本文化の特質の一端を理解する。  
0

3、年間授業計画

		指導内容	考查範囲	※ 時数(予定/実施)	※ 指導上の留意点・到達目標	
1 学 期	4月	百人一首 方丈記 「ゆく河の流れ」大鏡 「三船の才」 「酒虫」 枕草子 「春はあけ ぼの」 「虫は」	古文の学習は語句の意味 調べ、現代語訳、解釈を中 心に行なう。百人一首では 和歌の技巧について学び、 作品を鑑賞する。有名な作 品は暗唱も行なう。 漢文の学習は訓読、解釈を 中心に行なっていく。故事成 語、四字熟語なども学ぶ。	中間 考 査	20 / 	自分で読解で きるように、辞 書を積極的に 活用する。書き 下し文に直す 時の注意すべ き点を押さえ、 的確にできる ようにする。
	5月					
	6月		1学期の学習内容を継続し、 基礎力の定着を図る。土佐 日記では作者が女性に仮託 して日記を書いた背景を理 解する。奥の細道では作者 の旅に対する思い、平泉で の心情なども読みとる。漢文 では寓話の真意を読みと る。1学期に続き、ことわざ、 四字熟語なども学ぶ。	期 末 考 査	22 / 	
	7月					
2 学 期	9月	土佐日記 「門出」 「忘れ貝」 故事 「杞憂」 寓話 「不死之薬」 「且買履」 奥の細道 「旅立ち」	1学期の学習内容を継続し、 基礎力の定着を図る。土佐 日記では作者が女性に仮託 して日記を書いた背景を理 解する。奥の細道では作者 の旅に対する思い、平泉で の心情なども読みとる。漢文 では寓話の真意を読みと る。1学期に続き、ことわざ、 四字熟語なども学ぶ。	中 間 考 査	22 / 	なるべく多くの 作品に触れ、 作品世界の広 がりを鑑賞す る。 ことわざ、四字 熟語等も定期 的に学習し、使 いこなせるよ うにする。
	10月					
	11月		1, 2学期の学習内容を継続 する。作者独特の感性に よって書かれた文章を味わ う。	期 末 考 査	22 / 	
	12月					
3 学 期	1月	枕草子 「野分のま たの日こそ」	1, 2学期の学習内容を継続 する。作者独特の感性に よって書かれた文章を味わ う。	学 年 末 考 査	10 / 	古典の世界を 味読し、各自 が感想を持て るようにする。
	2月					
	3月					

4、評価の方法

定期考査の成績の他に、平常点として出席状況や授業態度を加味する。  
さらに、毎時間のノートやプリントの提出状況を勘案し、提出点として加える。  
0  
0

5、反省・総括・次年度への改善点

※